

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年07月11日

計画の名称	十和田市における循環のみちの実現												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成32年度 (3年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	十和田市												
計画の目標	下水道等複数の污水处理施設が共同で利用できる施設を整備することにより、効率的な污水处理事業の展開に資することを目的とする。 具体的には、十和田地区環境整備事務組合で処理しているし尿・浄化槽汚泥について、十和田下水処理場にて共同処理することにより、効率的かつ経済的な汚泥処理を実現する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	215	A	215	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)
1	十和田下水処理場における1日あたりの汚泥濃縮処理能力を480m ³ /日(H30当初)から720m ³ /日(H32末)に増加させる。 十和田下水処理場における1日あたりの汚泥濃縮処理能力(m ³ /日)	480m ³ /日	m ³ /日	720m ³ /日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

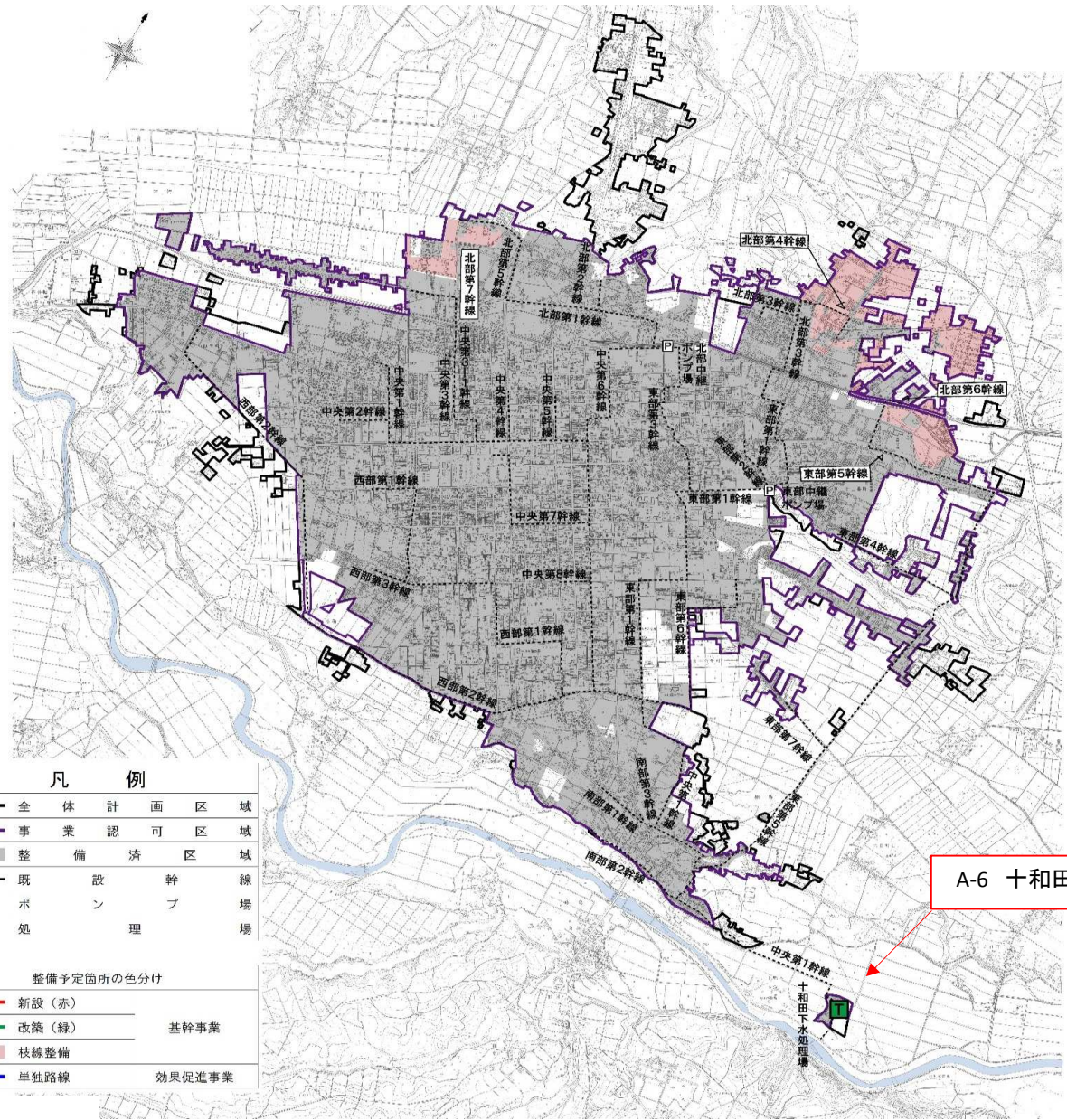
A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	終末処理場	-	十和田下水処理場 汚泥濃縮機 A-6	No.3汚泥濃縮機増設 240m3/日	十和田市						215		-
		種別2:増設																	
											小計						215		
											合計						215		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	35				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	35				
前年度からの繰越額 (d)	5				
支払済額 (e)	32				
翌年度繰越額 (f)	8				
うち未契約繰越額 (g)	8				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	20				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	他事業との調整及び工事範囲の検討に、不測の日数を要したため。				

計画の名称	十和田市における循環のみちの実現		
計画の期間	平成30年度 ~ 平成32年度 (3年間)	交付対象	十和田市



凡 例	
	全体計画区域
	事業認可区域
	整備済区域
	既設幹線
	ポンプ場
	処理場
整備予定箇所の色分け	
	新設(赤) 基幹事業
	改築(緑) 基幹事業
	枝線整備
	単独路線 効果促進事業

A-6 十和田下水処理場 汚泥濃縮機

事前評価チェックシート

計画の名称： 十和田市における循環のみちの実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 下水道事業計画による整備促進を図ることとしているものであり、上位計画との整合性はとれている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	
I. 目標の妥当性 地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした整備計画の目標を立てている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 定量的指標は、当市及び関係市町村の汚水処理状況を的確に捉えており、効率的な管理・運営に適した指標である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 事業内容は効率的な下水道施設(汚泥処理)の整備・運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 十和田下水処理場にて共同処理をすることにより、汚泥処理の効率化を図ることができる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）	
III. 計画の実現可能性 地域毎に住民説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○
III. 計画の実現可能性 十和田地区環境整備事務組合と協議を行い、事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）

III. 計画の実現可能性

十和田地区環境整備事務組合が行うし尿・浄化槽汚泥等処理事業と連携し、一体的な汚泥処理施設整備の促進を図り、汚泥処理の効率化を図ることとしている。

○